

McAfee Complete Data Protection—Advanced

時間や場所を問わず、データを保護する包括的なセキュリティ

重要なデータには紛失、盗難、漏えいのリスクが常に存在します。多くの場合、ラップトップやUSBデバイスからデータが流出しています。データを漏えいした企業は法的責任が問われるだけでなく、ブランドイメージが低下し、顧客の信頼を失うこととなります。信用回復にかかる費用も少なくありません。Ponemon Instituteの調査によると、会社のラップトップの7%は耐用年数を迎える前に盗まれたり、紛失しています¹。大容量のモバイルデバイスが急速に普及し、インターネットアクセスに利用されているため、データが流出したり、盗まれる機会は以前よりも増えています。機密データ、知的財産、個人情報の保護は最重要課題となっています。これらの問題を解決するソリューションがMcAfee® Complete Data Protection—Advancedです。

データ損失防止による柔軟な制御

エンドポイントでのデータ損失を防止するには、偽装された場合も含め、データに対する可視性と制御を向上させる必要があります。McAfee Complete Data Protection—Advancedを使用すると、メール、IM、印刷、USBデバイスなどによるデータの使用状況と転送状況を規制するセキュリティポリシーを会社全体に実装し、施行できます。事務所、自宅、移動中など、データの場所に関係なく保護します。

エンタープライズクラスのドライブ暗号化

FIPS 140-2とCommon Criteria EAL2+の認定を取得し、Intel Advanced Encryption Standard—New Instructions (Intel AES-NI) を搭載したエンタープライズクラスのセキュリティソリューションで機密データを保護します。McAfee Complete Data Protection—Advancedは、ドライブの暗号化とプリブート認証による強力なアクセス制御でデスクトップ、VDIワークステーション、ノートPC、USBドライブ、CD/DVD上にある機密データを不正アクセスから保護します。

主な機能

- McAfee Data Loss Prevention Endpoint
- McAfee Device Control
- ドライブの暗号化
- ファイルとリムーバブルメディアの暗号化
- ネイティブ暗号化の管理

データシート

リムーバブルメディア、ファイルとフォルダー、クラウドストレージの暗号化

データが編集、コピー、保存中かどうかに関係なく、特定のファイルとフォルダーを常に暗号化します。McAfee Complete Data Protection—Advancedのコンテンツ暗号化は、データが組織外に移動する前に、選択したファイルとフォルダーを自動的かつ透過的に暗号化します。特定のファイルとフォルダーに対して、ユーザーまたはユーザーグループごとにポリシーを中央で作成し、施行できます。ユーザーの操作は必要ありません。

ネイティブ暗号化の管理

Management of Native Encryptionにより、ネイティブ暗号化 (Apple Mac OS XのFileVault、Microsoft WindowsのBitLocker) の機能をMcAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee ePO™) で管理できます。ネイティブ暗号化の管理は、AppleとMicrosoftが提供するOS XとWindowsのパッチ、アップグレード、ファームウェアと完全な互換性があります。Appleの新しいハードウェアもサポートします。ユーザーがFileVaultやBitLockerを暗号化を有効にしている環境にもリカバリ キーを手動でインポートできます。

セキュリティの一元管理と高度なレポート機能

McAfee ePOの集中管理コンソールを使用して、データの暗号化、監視、盗難対策を制御するセキュリティポリシーを環境全体に実装できます。暗号化、フィルタリング、監視、不正アクセス防止のセキュリティポリシーを中央で定義して配布し、管理と更新を行います。

McAfee Complete Data Protection—Advancedの機能

デバイス制御

- 会社のネットワークに接続していない場合でも、リムーバブルメディアへのデータ転送を監視し、規制します。

データ損失防止

- 物理または仮想デバイス、アプライアンス、ストレージデバイスなど、エンドポイントでの機密データの送信、アクセス、印刷方法を制御します。
- トロイの木馬、ワーム、ファイル共有アプリケーション、従業員の認証情報の乗っ取りなどによる機密データの流出を防ぎます。
- データの変更、コピー、貼り付け、圧縮、暗号化が行われた場合でも、すべてのデータ、フォーマット、派生データを保護します。

主な特長

- メール、IM、印刷、USBドライブなどによるデータの使用状況と転送状況を監視し、規制します。送受信の両方に対応しています。これにより、データをきめ細かく制御できます。
- 巧妙なマルウェアを阻止し、重要な情報や個人情報の流出を防ぎます。
- デスクトップ、ノートPC、タブレット、クラウド上のデータを保護します。
- エンドポイントのネイティブ暗号化 (Apple FileVaultとMicrosoft BitLocker) をMcAfee ePOから直接管理できます。
- 電源が切れていたり、無効化あるいは暗号化されている場合でも、ハードウェアレベルでエンドポイントを操作できます。暗号化パスワードを忘れた場合や、セキュリティインシデントの発生時やアウトブレイク時でも、リモートからヘルプ作業を行うことができます。ヘルプデスクへの問い合わせ時間も短縮できます。
- 高度なレポート機能と監査機能により、コンプライアンス管理を行います。イベントを監視して詳細なレポートを作成し、プライバシー保護法や社内規約に遵守していることを監査担当者や関係者に証明できます。

データシート

エンタープライズ クラスのドライブ暗号化

- デバイス全体を自動的に暗号化します。ユーザーのアクションやトレーニングは必要ありません。システム リソースに影響を及ぼすこともありません。
- 強固な多要素認証により、承認ユーザーの確認を行います。
- Intel Software Guard Extensions (Intel SGX) をサポートします。
- サードパーティの認証情報プロバイダーと互換性があります。
- Windows 10 Anniversary Updateのインプレース アップグレードをサポートします。

リムーバブル メディアの暗号化

- 会社支給かどうかにかかわらず、モバイル ストレージ デバイスを自動的に暗号化します。
- 暗号化されたデータにはどこからでもアクセスできます。別途ソフトウェアを用意する必要はありません。

ファイル、フォルダー、クラウド ストレージの暗号化

- ローカルのハードディスク、ファイル サーバー、リムーバブル メディア、クラウド ストレージ (Box、Dropbox、Google Drive、Microsoft OneDrive) など、保存場所に関係なくファイルとフォルダーを保護します。

McAfee Complete Data Protection—Advancedの仕様

Microsoft Windows OS

- Microsoft Windows 7、8、10 (32ビット/64ビット)
- Microsoft Vista (32ビット/64ビット)
- Microsoft Windows XP (32ビットのみ)
- Microsoft Windows Server 2008
- Microsoft Windows Server 2003 (32ビットのみ)
- ハードウェア要件
 - CPU: Pentium III 1GHz以上のラップトップ/デスクトップ コンピューター
 - RAM: 512 MB 以上 (推奨 1 GB)
 - ハードディスク: 200 MB以上の空き容量

Apple Mac OS

- Mac OS X El Capitan、 Yosemite、 Mountain Lion、 Mavericks
- ハードウェア要件
 - CPU: 64 ビットEFIを装備したIntelベースのMacラップトップ
 - RAM: 1 GB以上
 - ハードディスク: 200 MB以上の空き容量
- 集中管理

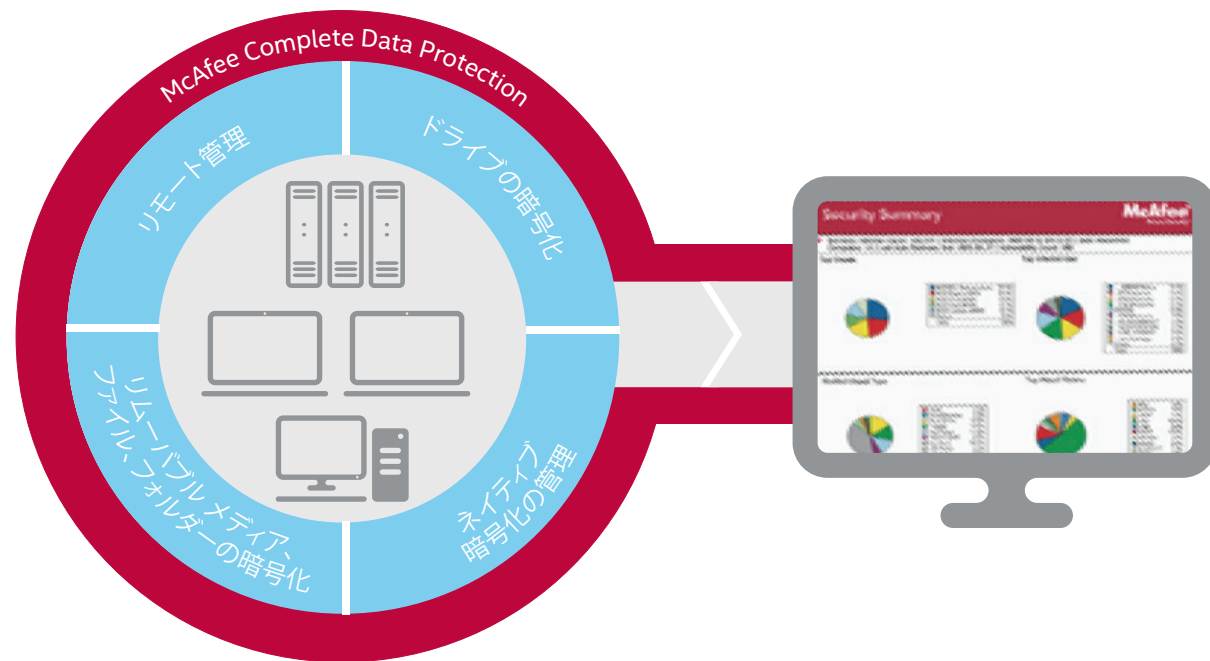


図 1. McAfee Complete Data Protection

データシート

MacとWindowsでのネイティブ暗号化の管理

- OS X Mountain Lion、Mavericks、Yosemite、El Capitanが稼動するMacハードウェアのFileVaultをMcAfee ePOで直接管理できます。
- Windows 7、8、10のBitLockerもMcAfee ePOから直接管理できます。Microsoft BitLocker Management and Administration (MBAM) サーバーを用意する必要はありません。

集中管理コンソール

- McAfee ePOにより、ディスク全体、ファイルとフォルダー、リムーバブルメディアの暗号化を管理し、ポリシーとパッチの適用を一元管理できます。紛失したパスワードを復旧したり、コンプライアンス要件の対応状況を報告することもできます。
- Microsoft Active Directory、Novell NDS、PKIなどとセキュリティ オプションを同期します。
- 高度な監査機能により、デバイスの暗号化状態を確認します。
- 送信者、受信者、タイムスタンプ、データ エビデンス、前回ログインに成功した日時などがログに記録されます。

詳細についてはこちらをご覧ください。

マカフィーのデータ保護の詳細については、www.mcafee.com/jp/products/data-protection/index.aspx をご覧ください。



〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティウエスト20F
Tel. 03-5428-1100 (代表)
www.mcafee.com/jp

1. *The Billion Dollar Lost Laptop Problem Study* (10億ドルの損失に相当するラップトップの問題) — Ponemon Institute、2010年9月

McAfeeおよびMcAfeeのロゴ、ePolicy Orchestratorおよび McAfee ePOは米国法人McAfee, LLCまたは米国またはその他の国の関係会社における登録商標または商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。Copyright © 2017 McAfee, LLC. 2944_0417
2017年4月